

田んぼの水族館inアニパ (H24.8.29-9.2) 開催結果

農村振興課



- 5日間の来場者数 約1,000名
(29日100名、30日100名、31日100名、1日200名、2日500名)
- ミニ教室(1日、2日の午前・午後各1回)来場者数 約200名
(右写真:2日午後の部の様子)
- 10才までのお子さまを持つ家族での参加がとくに多かった。
(アンケートから)



- 「おさわりタイム」で触れられたカエルが特に人気。
生きた魚やエビ、貝しか食べないナマズにも注目。
- “市街地に住む子どもには新鮮な体験になったと思います。”(45才)
- “カエルがバッタを食べる瞬間を見ることができた”
(7才)



- 都祁・御杖・宇陀の大和高原の農村に住む魚やカエルなどの生体展示のほか、農業農村のパネルを展示。
- “たくさんの魚を見られて子どもが嬉しそうだった。”(39才)
- “(カエル)おなかがぼてっとしていておもしろかった。”
(8才)



- アマゴ等、御杖の水温の低い川にすむ魚を展示するために、農業総合センターから水冷装置を借用。
- 魚やカエルの説明を増やして欲しいなどの御意見も。
(アンケートから)